

## 流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：久保興業株式会社)

目的や背景	平成 30 年 7 月豪雨を経験し、自然災害の恐ろしさを実感しました。河川の整備、強靱化は行政で実施して頂いているが、共助として支流を含む流域の住民、地域の企業ができることを行い、被害を少しでも小さくすることは大切だと考え流域治水に取り組んでいます。
取組み内容	<p>非常用電源の確保 可搬式の発電機を 5 台(最新 R4 年購入)所有し、訓練時に作動確認を実施</p> <p>水災害に備えた資機材の確保 浸水時の移動、搬送用にゴムボート(4 人乗り)を 1 基保有 水で膨張する吸水土嚢(水ピタ)を 50 袋備蓄</p> <p>水災害を含む企業 BCP の策定 四国建設 BCP 等審査会(R5. 3. 22 更新認定)</p> <p>防災士の取得 2 名取得済(H24, R2)</p> <p>水災害を想定した避難訓練と社内研修の実施 1 年に 1 回(R5. 5. 19)、地域住民との避難訓練及びゴムボートの組立訓練実施</p> <p>流域治水に関する啓発活動 肱川流域で活動する「(一社)肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク」の主催する勉強会に参加(R4. 11. 10)</p> <p>河川の清掃ボランティア活動 肱川流域で活動する「肱川流域会議水中めがね」の主催する河川清掃(2 回/年)に参加 矢落川(R5. 4. 7)、小田川(R5. 10. 28)</p>

発電機訓練 (R5. 5. 19)



水膨張土のう (50 袋)



ゴムボートの組立訓練実施 (R5. 5. 19)



取組状況が分かる写真

流域治水に関する啓発活動参加 (R4. 11. 10)

**西予市の田んぼダムの取組を勉強してみよう!**

～流域治水上下流交流～

1. 目的

気候変動による大規模な災害が、頻発している中、治水事業も河川事業だけでなくあらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合かつ多層的な水災害対策による「流域治水」に舵を切ったところ。しかしながら具体的にどのような取組をするのか見えてこないのが現状である。

流域治水の取組も3年目に入り、全国的に具体的な取組も増えつつある状況のなか、西予市においては、田んぼダムの実証実験が進められている。

そこで、西予市において実施されている田んぼダム実証実験の視察を行い、今後の活動に活かす。

また、上流の方々と交流を行うことにより、「つなごう敷川」の一助とする。



河川清掃ボランティア参加

矢落川 (R5. 4. 7)



小田川 (R5. 10. 28)



その他

災害級の豪雨は、いつ襲ってきてもおかしくありません。日頃から洪水に対する備えをおこない、下流の地域のために私たち支流・上流の企業もできることを行い、流域全体で少しでも被害が小さくなるように努めたいと思います。